

## 令和5年度 学校経営計画及び学校評価

## 1 めざす学校像

多様な選択ができる教育課程、仲間とともに学ぶ主体的で充実した高校生活を通して、自らの「夢」にチャレンジする生徒を育て、希望する進路を実現するための確かな学力が身につく、「進学重視の総合学科」をめざす。

1. 夢チャレンジを具体化する教育活動の展開
2. ともに学び、ともに育つ学校生活の充実
3. 主体的・対話的で深い学びの実現と、確かな学力の育成

めざす生徒像

1. 21世紀をになう人
2. 知・徳・体の調和のとれた人
3. 時代の変化に対応できる人
4. 堺東高校から地域社会、そして世界へとほばたく人
5. 感性・創造性豊かな人

## 2 中期的目標

## 1 確かな学力の育成と授業改善

## (1) 授業の充実と授業改善

ア 教員間における「授業見学」や研究授業の「研究協議」や生徒の「授業アンケート」を効果的に活用し、「主体的・対話的で深い学び」や1人1台端末等 ICT を日常的・積極的に活用する授業改善に取り組む。

※ 授業アンケートにおける教材活用満足度をR7年度90%以上とする。(R2:86%、R3:87%、R4:91%)

## (2) 自分の意見をまとめ、相手に自分の考えを伝える能力の向上

ア 「総合的な探究の時間」の充実を図る。

※ 総合学科アンケートにおける「コミュニケーション能力が身についた」R7年度には、80%とする。(R2:65%、R3:76%、R4:78%)

## (3) 基礎学力の定着と自ら学ぶ意欲・姿勢の涵養

ア 授業充実による学力向上を基本に、講習、補習等で「学力生活実態調査」の再点検を行うなど、基礎学力を定着させ、進路実現に向け最後まで頑張り続ける意欲・姿勢を高めさせる。

※ 「学力生活実態調査」(1、2年)におけるGTZの1年B3、2年C1をR7年度には共にB2とする。(R2:[B2、B3]、R3:[B3、B3]、R4:[B3、C1])

## イ 夏季休業中の講習の参加や「進路CAFE」等の利用を促進し、自ら学ぶ意欲を高める。

※ 学校教育自己診断における「学習に頑張ってきた」をR7年度には76%とする。(R2:72%、R3:74%、R4:72%)

## 2 安全で安心な学校づくり

## (1) 人権教育の推進(生徒一人ひとりがそれぞれの個性を尊重しあう集団づくりを行い、人権課題に主体的に対応できる力を育む)

ア 自立支援コースの充実を図り、「ともに学び、ともに育つ」学校づくりを推進するとともに、府内の高等学校における支援教育力の向上に貢献する。

イ いじめの早期発見・対応、体罰防止など、生徒一人ひとりの人権を尊重する学校づくりを推進する。

## (2) 教員の人権意識の高揚

ア 校内人権研修を通じて自らの人権感覚を高め、人権侵害のない学校づくりをめざす。

※ 教員の「学校教育自己診断」における『人権教育の校内研修や学習会は充実している』R7年度には78%以上とする。(R2:75%、R3:60%、R4:75%)

## (3) 生徒の規範意識の醸成

ア 生徒指導、人権教育を両輪とした教員からの働きかけに加え、生徒自治会活動などを通じた生徒の取り組みも引き出し、安全安心な学習環境を維持する。

※ 生徒の「学校教育自己診断」における『生活指導上のルールを守っている』をR7年度には94%とする。(R2:92%、R3:93%、R4:90%)

## (4) 通学路の安全確保

ア 行政とともに学校周囲の歩道整備を計画し、地域の理解・協力が得ながら完成をめざす。

## 3 夢の実現にチャレンジする積極的な生徒の育成

## (1) キャリア教育の充実

ア 「総合的な探究の時間」「ホームルーム」「志学」等を通じて夢や志を持って自己の可能性を広げ、粘り強くチャレンジする姿勢を育むとともに、自らの人生や新しい社会を切り拓く力を育成する。

イ 保育所、病院、老人介護施設等へのインターンシップの充実を図り、それぞれの職業への理解を深める。

※ 生徒の「学校教育自己診断」のキャリア教育に係る満足度を、令和7年度においても90%の維持(R2:90%、R3:90%、R4:90%)

「選択した科目で自分の進路選択につながるものが十分あった」の満足度をR7年度には85%以上とする。(R2:80%、R3:84%、R4:83%)

## (2) 部活動の充実と学校行事への積極的な参加

ア 「部活動に係る基本方針」に則り、部活動を充実・活性化すると同時に、魅力発信を強化し、入部率の回復、伸長を図る。

※ 部活動入部率をR7年度には73%とする。(R2:72%、R3:71%、R4:64%)

イ 学校行事等の生徒が自主運営する行事の活性化を図り、自己肯定感を高める。

※ 「体育祭」「文化祭」の満足度をR7年度にはともに90%以上とする。(R2:[一、83]、R3:[92、86]、R4:[83、88])

## (3) 生徒の対外活動の活性化と地域連携

ア 部活動や授業において、地域の行事やボランティア活動に積極的に参加する。

※ 「自主性を伸ばすことが出来た」の満足度をR7年度には83%とする(R2:74%、R3:79%、R4:81%)

## 4 開かれた学校づくりの推進と情報の発信

## (1) ホームページ、連絡網等の充実

ア 学校の情報をタイムリーに保護者・生徒に提供するとともに、地域社会に向けた効果的な広報活動の充実を図る。

※ HP、校長ブログ等の更新を頻繁に行うとともに、連絡網によるタイムリーな情報発信を行い、保護者の「学校教育自己診断」の情報提供満足度85%以上にする。(R2:81%、R3:88%、R4:82%)

## (2) 学校説明会の充実

ア 学校説明会、オープンスクール及び、ミニ見学会等の内容を、参加者のニーズに合うようアンケートを取り充実させる。

## (3) 緊急時の連絡手段の構築と活用

ア 緊急時等における生徒・保護者・教職員の連絡手段の活用を図る。

## 【学校教育自己診断の結果と分析・学校運営協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析 [令和5年11月実施分]	学校運営協議会からの意見
<p>【学習指導】(※%は肯定率)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習に関して、「一般的にみて授業が難しい」と回答した生徒は84.8%(1年91.3%、2年85.3%、3年75.0%)(昨年79.0%)と増加した。</li> <li>・授業に関して、「一般的にみて授業の雰囲気はよい」と回答した生徒は85.8%(1年83.8%、2年93.5%、3年78.7%)(昨年83.3%)と昨年を上回った。また、「1人1台端末を効果的に活用するなど工夫している」と回答した生徒は93.0%(1年95.1%、2年94.0%、3年88.8%)(昨年82.0%)と上回った。一方、「子どもは授業がわかりやすく楽しいといっている」と回答した保護者は63.6%(66.7%)と昨年を下回った。</li> </ul> <p>→今後、生徒の状況を見極めながら、生徒の学習効果を高められるように、教え方の工夫や授業の進捗・内容の検討を含めた、授業改善への取組みを続けたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリア教育について、「将来の進路や生き方について考える機会がある」と回答した生徒は95.2%(1年95.9%、2年98.1%、3年90.5%)(昨年89.7%)、「将来の進路や職業、キャリアガイダンスについて適切に指導している」と回答した保護者は90.8%(昨年89.4%)、教員84.6%(昨年83.9%)といずれも昨年を上回る評価であった。</li> <li>・選択科目について、「選択科目の内容は、全体的にみて期待どおりであった」と回答した3年生は80.6%(昨年79.0%)、「本校の選択科目は生徒の興味・関心に応じている」と回答した教員は79.7%(昨年73.2%)、保護者は85.5%(昨年88.3%)であった。</li> </ul> <p>→引き続き、総合学科として生徒のキャリア教育と支援を充実させ、生徒が自分の進路目標を実現できるための魅力ある学校となるよう工夫に努めたい。</p> <p>【生徒指導】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校生活に対する意識について、「学校に行くのが楽しい」と回答した生徒は79.4%(1年80.9%、2年82.9%、3年72.9%)(昨年74.7%)と全体的には増加した。一方、「子どもは学校へ行くのを楽しみにしている」と回答した保護者は79.0%(昨年84.5%)と減少した。</li> <li>・本校の生徒指導に関して、「生徒指導上のルールを守っている」と回答した生徒は96.6%(1年99.1%、2年93.5%、3年97.1%)(昨年90.3%)、また、「学校の生活について先生の指導には納得できる」と回答した生徒は78.0%(1年75.6%、2年83.4%、3年74.7%)(昨年75.7%)と増加した。一方、「学校の生徒指導の方針に共感できる」と回答した保護者は83.1%(昨年86.9%)と減少した。</li> <li>・本校の人権教育に関して、「生命の大切さや適切な人権感覚、社会のルールを学ぶ機会がある」と回答した生徒は91.6%(1年90.5%、2年92.6%、3年91.8%)(昨年88.7%)、「学校は生徒に生命を大切に心や社会のルールを守る態度を養おうとしている」と回答した保護者は86.6%(昨年90.0%)、「本校の人権教育の機会と内容は適切である」と回答した教員は92.8%(昨年83.9%)であった。</li> <li>・本校のいじめに対する体制・対応に関して、「先生はいじめについて困っていることがあれば真剣に対応してくれる」と回答した生徒は88.7%(1年84.7%、2年94.5%、3年87.0%)(昨年85.0%)、保護者は79.4%(昨年87.1%)、「いじめが起きた際の体制が整っており、迅速に対応できる」と回答した教員は88.8%(昨年85.5%)であった。生徒と教員については、肯定率が上昇しているが、保護者については減少している。</li> </ul> <p>→生徒指導に対する教員の取組みや生徒への対応については、例年と同様に評価されている。一方、生徒において学年間で差がみられること、また保護者の肯定率が減少した項目があることを踏まえ、指導方針等について保護者に丁寧に説明をすることや保護者や地域等の意見を参考に、今後も安全で安心な学校づくりへ取り組んでいきたい。</p> <p>【学校運営】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3年生の総合学科アンケートにおいて、「科目選択で選びたい科目を選択できた」と回答した生徒は、大きくポイントが上がった昨年度(85.0%)に比べ、今年度は77.0%と下げてしまった。一方、「学校行事や学校生活においても、総合学科らしさを感じることができた」と回答した生徒は83.5%(昨年72.0%)と昨年を大きく上回った。「総合学科を選んでよかった」と回答した生徒は88.8%(昨年89.0%)で、例年とほぼ同じ値であった。</li> </ul> <p>→教職員が総合学科の特色や強みを再度見直し、総合学科の魅力向上に努めていきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校行事について、「文化祭・体育祭などの学校行事は活発である」と回答した保護者は93.0%(昨年90.6%)、教員94.6%(昨年73.2%)また、生徒について、文化祭に92.6%(1年94.1%、2年94.0%、3年88.4%)(昨年82.0%)、体育祭に92.1%(1年93.0%、2年95.4%、3年86.5%)(昨年77.0%)と昨年を大きく上回る肯定的な評価を得た。</li> </ul> <p>→生徒会部を中心に、生徒の主体的な活動を一層推進していけるよう学校行事の充実を図っていきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育相談について、「担任の先生以外にも相談できる先生がいる」と回答した生徒は59.3%(1年52.2%、2年64.0%、3年62.9%)(昨年48.3%)、「学校は子どもの悩みや相談に適切に応じてくれる」と回答した保護者は78.6%(昨年79.2%)、「生徒は担任以外の教職員にも相談することができる」と回答した教員は90.7%(昨年89.1%)であった。生徒の評価は昨年を大きく上回り、教員と保護者は微増減だった。</li> </ul> <p>→担任が面談等を繰り返し行い、親身に生徒の相談にのっているが、生徒が気軽に相談できる体制の構築に向けて、教員全体が意識をもって今後も取り組んでいきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「職員会議をはじめ各種会議が、教職員間の意思疎通や意見交換の場として有効に機能している」と回答した教員は53.7%(昨年46.4%)、「各仕事の引継ぎがスムーズに行われ継続性がある」と回答した教員は61.1%(昨年46.4%)、「教育活動全般にわたる評価を行い、次年度の計画に生かしている」と回答した教員は79.2%(昨年62.5%)といずれも昨年を大きく上回った。</li> <li>・地域連携について、「近隣の学校などと異校種間連携の機会を設け、本校の教育活動に生かしている」と回答した教員は70.4%(昨年62.5%)と増加した。一方、「PTA活動に参加している」と回答した教員は46.3%(昨年46.6%)と横ばいであった。</li> </ul> <p>→来年度、分掌や委員会の再編整備を行うにあたり、業務の引継ぎは大変重要である。教職員間のコミュニケーションを密に図り、スムーズな業務の引継ぎ、および組織の円滑な運営が行われるようにすることが必要である。またPTA活動をはじめとした地域連携を積極的に参加できるような職場の環境づくりに努めたい。</p> <p>【情報提供】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校からの情報提供について、「学校は進路や入試等の情報について知らせてくれる」と回答した生徒は94.2%(1年92.5%、2年98.1%、3年91.7%)(昨年86.3%)、「学校は教育情報について提供の努力をしている」と回答した保護者は85.0%(昨年81.6%)、「教育活動に必要な情報について生徒・保護者や地域への周知に努めている」と回答した教員は90.8%(昨年89.3%)といずれも昨年を上回った。</li> <li>・家庭への連絡や意思疎通について、「一般的に学校は、家庭への連絡や意思疎通を積極的にきめ細かく行っている」と回答した保護者は75.9%(昨年76.1%)、教員は94.4%(昨年92.9%)であった。</li> <li>・地震や台風等緊急時の対応について、「地震や台風等緊急時のマニュアルは適切である」と回答した保護者は88.0%(昨年95.4%)と昨年を下回った。</li> </ul>	<p>第1回(7/24)</p> <p>○スクールポリシーについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スクールポリシー策定後、分かり易く周知するとともに、学校の取り組みが大切。自己評価し、検証・改善をしている学校が強みを発揮できると思う。</li> <li>・総合学科としての強みをスクールポリシーに表現できている。</li> </ul> <p>○確かな学力の育成と授業改善について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人口動態と関連しGTZのランクダウンが懸案。</li> <li>・契約の学習など、総合学科として取り組み易い面もあるのではないかと思う。学校教育の中で取り組んでやって欲しい。</li> <li>・プレゼンテーションソフトの活用法など、効果的なプレゼンテーションができるよう教育活動の中でトレーニングしてほしい。</li> </ul> <p>○安全で安心な学校づくりについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・長年の懸案事項となっている学校周辺道路の歩道整備について、学校と地域自治会が連携して堺市に働き掛けていければ良い。</li> <li>・防犯カメラの設置は生徒と地域の安全のために有効な手立てとなる。</li> <li>・学校教育自己診断における「学校へ行くのが楽しい」の評価指標を76%以上と設定している点はよいと思う。達成を期待している。</li> <li>・ヤングケアラーへの支援なども外部人材の活用ができるよう相談していくことが重要。</li> <li>・備蓄倉庫の中に何かあるのかを調べるのも防災教育に繋がるのではないかと思う。</li> </ul> <p>第2回(11/16)</p> <p>○確かな学力の育成と授業改善について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・進学実績が上がっている学校は、体系化された探究活動により、学習に対する意義づけやモチベーションの向上を図っているところが多いように思う。</li> <li>・学力の向上と学習習慣の確立は連動しており、2極化が進まないよう計画的な指導が重要。</li> </ul> <p>○夢の実現にチャレンジする積極的な生徒の育成について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総合学科の多様な選択科目を生徒が選んでいく際の、教員からの助言を充実させることも重要だと思う。</li> <li>・少子化による生徒数の減により、中学校では教員数も減少する中で、クラブ活動については地域移行と併せてクラブの閉鎖も現実問題となっている。そんな中、高校にはどんなクラブがあるのかということが、中学生が関心を寄せる一つとなっている。コンピュータ系の人気が高まっている。</li> </ul> <p>○開かれた学校づくりの推進と情報の発信について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・私立高校は施設(トイレ等)の充実などを中学校に対して積極的にPRしているため、中学生が私立高校へ流れる傾向は続く可能性がある。府立高校は自校の強みをしっかり伝えていくことが大切。</li> <li>・学校の広報においては進学実績が目玉されがちであるが、関心のある分野を深く追究したいというモチベーションを高め、夢をつかめたのか(希望の進路を決められたのか)という、総合学科の特色を打ち出していくことが大切だと思う。</li> </ul> <p>第3回(1/25)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学力生活実態調査の結果を見ると、様々な項目が向上しているように思います。コロナが5類に移行し、制限が解除されていることも要因の一つとして影響しているのかも知れません。</li> <li>・授業アンケートの回答数が100%に近いのはすごいことです。全生徒が回答した中で評価が高いのは良いと思います。</li> <li>・コロナが第5類に移行したとはいえ、部活動加入率についてはコロナ前には戻ってきていない感じのようです。</li> <li>・「担任以外に相談できる先生がいる」の評価が上がりましたが、そのようになった具体的な取り組みや相談頻度が高くなる時期の検証等を進めると良いと思います。</li> <li>・学校教育自己診断アンケートの「将来の進路や、生き方について考える機会がある」の評価が90%以上で高いと思います。</li> <li>・3年生の学年ではコロナ禍で保護者向け科目選択説明会がなくなってしまったのが残念でした。</li> <li>・遅刻が多いのが気になります。理由を把握し対策に努めることが大切です。</li> <li>・今年、久しぶりに同窓会を開くことができました。同窓会に関わるものとして、今の生徒たちが母校のことをどう思っているのかを知りたいです。</li> <li>・自転車通学する生徒が多いですが、交通事故が心配なので、</li> </ul>

→1人1台端末を活用した日常における情報のやり取り、また緊急時の連絡方法など工夫していること、またホームページの定期的な更新により積極的な情報の提供や発信に一定の成果を得ている。一方、緊急時の連絡体制等の周知については、再度徹底することが必要である。

周辺の自転車道の整備が進むよう関係機関への働きかけを進めてください。

### 3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標[R4年度値]	自己評価
1 確かな学力の育成と授業改善	<p>(1) 「主体的、対話的で深い学び」、ICTを活用した授業改善、学びの保障</p> <p>(2) 相手に自分の考えを伝える能力の向上</p> <p>(3) 基礎学力の定着と自ら学ぶ意欲・姿勢の涵養</p>	<p>(1) ア・教員相互に資質を高め合う授業公開や研究協議、管理職の授業観察、授業アンケート結果の検証等を通じて、「主体的・対話的で深い学び」、1人1台端末等を日常的・積極的に活用する授業改善に取り組むとともに、感染症発生時等に家庭学習に取り組めるようICTを活用するなど学びの保障を行う。</p> <p>(2) ア・授業、集会において自分の考えを発表したり、意見を聞いたりする機会を設ける。 イ・SDGs（持続可能な開発目標）の視点も踏まえて「総合的な探究の時間」を実施し、ポスターセッション等を通じて自分の考えを伝え、国際的な視野にたてるグローバル人材の育成をめざす。</p> <p>(3) ア・授業充実による学力向上を基本に、講習、補習等で「学力生活実態調査」の再点検を行うなど、基礎学力を定着させ、進路実現に向け最後まで頑張り続ける意欲・姿勢を高めさせる イ・キャリア教育「夢チャレンジ」や教科指導等のあらゆる教育活動を通じて、学習に向かう態度を育むとともに、夏季休業中の講習等に自ら参加する姿勢を育てる。</p>	<p>(1) ア・授業アンケートの「教材活用」における肯定的評価 90%以上 [91%] ・学校教育自己診断における「授業の工夫」の肯定率 93%以上 [94%]</p> <p>(2) ア、イ ・「産業社会と人間・総合的な探究の時間」においてグループ・個人でのプレゼンテーション、クラス・学年での発表会を開催する。 ・総合学科アンケートの「コミュニケーション能力が身についた」肯定率 79%以上 [78%]</p> <p>(3) ア・「ガンドリ」を実施し、基礎学力の定着を図り「学力生活実態調査」1,2年におけるGTZを(B2、B3)にする。[B3,C1] イ・学校教育自己診断の「学習に頑張ってきた」74% [72%]</p>	<p>(1) ア・前・後期にそれぞれ1週間の授業公開を実施するとともに、全教員参加の研究授業・研究協議を行い、教員相互で研修を行った。授業アンケート「教材活用」肯定率は90%であった。(○) ・学校教育自己診断「授業の工夫」の肯定率は93%であった。(○)</p> <p>(2) ア、イ ・総合的な探究の時間「夢チャレンジ」、「産業社会と人間」、「特別活動」等を通じ、夢の追求、共生、SDGsの学びと取組み、課題研究へと切れ目のない学びと成長の過程を経て、自らの意見をプレゼンテーションできる力を育みつつ、キャリア教育を展開している。(○) ・総合学科アンケート「コミュニケーション能力が身についた」の肯定率は79%であった。(○)</p> <p>(3) ア・日常の課題に加え、夏休み前の「ガンドリ」の実施により、基礎学力の底上げ・定着を図った。今年度第2回の「学力生活実態調査」における1,2年GTZは(B2、B3)で、目標を達成した。(○) イ・学校教育自己診断(生徒)における「授業態度が良い」、「授業は理解できた」、「授業内容が分からない時、理解できるよう行動した」それぞれの肯定率が、87.7%、78.1%、92.1%であり、高い水準で努力を続けている。(○)（「学習を頑張った」ことを、より具体的な指標で評価）</p>
2 安全で安心な学校づくり	<p>(1) 人権教育の推進 ア「ともに学びともに育つ」教育のさらなる推進</p> <p>イ いじめ防止</p>	<p>(1) ア・「自立支援コース」生徒の授業交流の機会を保障するとともに支援学校との交流の継続実施</p> <p>・障がい者理解、SNSなどの人権学習をはじめ、あらゆる教育活動において人権・多様性を尊重する教育を推進し、自他の違いを認め権利を尊重し、人権課題に主体的に対応できる力を育む。</p> <p>イ・いじめはどこにでも起こりうることを認識し、教職員一人ひとりが敏感で寄り添う指導ができるよう資質の向上に努めるとともに、「いじめ防止基本方針」に則り組織的に取り組む。</p>	<p>(1) ア・「自立支援コース」生徒の交流授業の科目数(6教科)とする。</p> <p>・支援学校との交流を2回実施 [2回] ・「学校教育自己診断」(保護者)における「人権感覚を身につけている」肯定率 95%以上 [96%]</p> <p>イ・学校教育自己診断におけるいじめ対応の肯定率を維持 [85%]</p>	<p>(1) ア・理科・社会・保健体育・芸術・家庭・情報の6教科の授業で「自立支援コース」生徒が原学級でともに学ぶとともに、総合的な探究の時間、HR活動、学校行事等でともに学ぶ機会を創出している。(○) ・7月および12月に堺支援学校高等部3年生との交流会を実施した。(○) ・「学校教育自己診断」(保護者)における「子どもは適切な人権感覚を身につけている」の肯定率は94%と目標を1ポイント下回ったが、90%台中盤の例年同様の高率を保つことができた。(○)今後も、あらゆる教育活動において適切な人権感覚を養うことができるよう、教員研修を継続していく。</p> <p>イ・いじめ防止基本方針を改訂し職員会議で確認するとともに、年間計画通り委員会を開催し、情報共有を行っている。(○)アンケートの実施や生徒への聞き取り等、組織的な対応を行い、学校教育自己診断「いじめ対応」の肯定率は89%であった。(○)</p>

## 府立堺東高等学校

<p>ウ 仲間づくり</p> <p>エ 合理的配慮への取組み</p> <p>オ 自立支援コースの成果の府内での共有</p> <p>(2) 教員の人権感覚や人権意識の高揚 ア 人権研修の充実</p> <p>イ 教育相談体制の充実</p> <p>(3) 生徒の規範意識の醸成</p> <p>(4) 通学路の安全確保</p> <p>(5) 働き方改革の推進</p>	<p>ウ・通知に基づきコロナ禍の制限を廃し、仲間づくりの機会や協同し取り組む活動を増やすとともに、教職員・生徒ともに挨拶を励行する</p> <p>エ・生徒、保護者から配慮を求める意思表示があった場合は「合理的配慮」を行う。</p> <p>オ・高等学校支援教育力充実事業支援教育サポート校として、府内の高等学校における「ともに学び、ともに育つ」教育を推進する。</p> <p>(2) ア・様々な人権課題の中から人権研修を年間2回開催し研修の充実を図る</p> <p>イ・生徒一人ひとりの心身の状況把握に努めるとともに、教職員から生徒への声掛けなど生徒が気軽に相談しやすい関係の構築、全体で教育相談にあたる意識の醸成など、組織的な教育相談体制の充実に取り組む。</p> <p>(3) ア・生徒指導、人権教育を両輪とした教員からの働きかけに加え、生徒自治会活動などを通じた生徒の取り組みも引き出し、安全安心な学習環境を維持する。</p> <p>イ・外部講師などによる講演を実施し情報モラル、交通ルール遵守の姿勢を育てるとともに、薬物乱用防止教育に取り組む。</p> <p>(4) ア・堺市建設局、地域自治会の協力を得て学校周辺の歩道整備を推進する。</p> <p>(5) ア・好事例を参考として、できることから着手するなど、「働き方改革委員会」で検討を進め、校務運営の効率化を推進する</p>	<p>ウ・学校教育自己診断の「学校へ行くのが楽しい」肯定率76%以上 [75%]</p> <p>エ・懇談会や連絡ノートによる日々の連絡等により保護者と連絡を密にして、必要な支援の把握に努め、基礎的環境整備や合理的配慮につなげる。[懇談会1回、連絡ノート授業日ごと]</p> <p>オ・要請を可能な限り承諾し、府内高等学校の支援教育力向上のため、他校教員も参加する情報交換会・研修会を3回以上実施する。[情報交換会4回、研修会3回]</p> <p>(2) ア・学校教育自己診断(教員)「人権教育の校内研修や学習会は充実している」肯定率76% [75%]</p> <p>イ・学校教育自己診断の「担任以外で相談できる先生がいる」肯定率50% [48%]</p> <p>(3) ア・学校教育自己診断「生徒指導上のルール」を守っている92% [90%]</p> <p>イ・外部講師による情報モラル(SNS含む)、交通安全、薬物乱用防止指導それぞれ1回実施する。</p> <p>(4) ア・堺市建設局、地域自治会との協議を継続し、歩道整備を進める。</p> <p>(5) ア・ICT活用による会議時間縮減とペーパーレス化、時間外外線の不在メッセージ対応等、業務整理・改善を進め、時間外在校等時間の縮減に努める。</p>	<p>ウ・生徒主体の学校行事の実施など、充実した学校生活を送ることができるよう取り組み、「学校へ行くのが楽しい」肯定率は79%であった。(○)</p> <p>エ・6月に保護者交流会及び関係団体を交えた進路懇談会を開催、12月にも保護者交流会を実施し、様々な繋がりができるよう取り組んだ。また、連絡帳や電話等による保護者との日々の連携を通して信頼関係を構築した。(○)</p> <p>オ・高等学校支援教育力充実事業支援教育サポート校として、相談要請への対応(11校32件)、支援教育コーディネーター連絡会3回、府内自立支援推進校担当者連絡会2回、教職員研修(サポート校公開研修)3回を開催した。(◎)</p> <p>(2) ア・7月にSCを招聘し「いじめ問題」について、1月には医師を講師に招き「起立性調節障がい」について教職員人権研修を実施した。学校教育自己診断(教員)「人権教育の校内研修や学習会は充実している」肯定率は大きく向上した。85%(◎)</p> <p>イ・相談窓口の周知や教職員間の定期的な情報共有などにより、相談しやすい体制づくりを行ったことで、学校教育自己診断「担任以外で相談できる先生がいる」の肯定率は59%に大きく向上した。(◎)</p> <p>(3) ア・生徒との対話や人権を大切にした取り組み、生徒主体の自治活動の活性化などにより、学校教育自己診断「生徒指導上のルールを守っている」肯定率は97%と大きく向上した。(◎)</p> <p>イ・情報モラル教育、交通安全教育、薬物乱用防止教育それぞれに、外部講師を招いて講習会を各1回実施した。(○)</p> <p>(4) ア・堺市での予算確保の見通しが立っていないが、現状について地域自治会と情報共有するとともに、地元市議員へも申し入れを行っている。(○)</p> <p>(5) ア・職員会議や日々の業務連絡等におけるICT活用とペーパーレス化、時間外外線の不在メッセージ対応、全校一斉定時退庁などの実施により業務負担の縮減を図り、時間外在校等時間(一人当たり1ヶ月平均)を1.8時間縮減。80時間越えの延べ人数は22人減少。(○) 今後も業務負担縮減を進めるとともに、業務削減が可能なものの検討も行っていく。</p>
---	---	---	---

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">3 夢の実現にチャレンジする積極的な生徒の育成</p>	<p>(1) キャリア教育の充実 ア 系統立てたキャリア教育の推進</p>	<p>(1) ア・「産社」「志学」「総合的な探究の時間」「HR」等を系統立ててキャリア教育を推進するとともに、多様な経験や専門性を持った人材の活用や、地域・大学・企業等との連携の充実を図り、自らの人生や新しい社会を切り拓く力を育成する。</p>	<p>(1) ア・総合学科アンケートにおける「選択科目における進路選択」満足度 84%[83%]</p>	<p>(1) ア・選択科目の内容やガイダンスの満足度はいずれも 80%を超えているが、総合学科アンケート「選択した科目で進路につながるものが十分にあった」の肯定率は 81%で、目標をやや下回った。(△) キャリア教育を一層充実させ、早期に進路目標を立てることで選択科目と進路の親和性を高めるとともに、教員の授業担当時間の制約の中で、できる限り進路実現に必要な科目の開講を行っていく。 ・学校教育自己診断における「キャリア教育」満足度は 95%と大幅に向上した。(◎)</p>
	<p>イ インターンシップの充実</p>	<p>イ・保育所、病院、老人介護施設、医療系大学等へのインターンシップの継続</p>	<p>・学校教育自己診断における「キャリア教育」満足度の維持 [90%] イ・保育所、病院、老人介護施設、医療系大学等へのインターンシップの継続参加 [看護師体験 2名]</p>	<p>・学校教育自己診断における「キャリア教育」満足度は 95%と大幅に向上した。(◎) イ・老人介護施設など、感染症対策の緩和が難しい施設の訪問は未だに厳しい状況が残るが受け入れてくれる施設を探し、保育所、病院、老人介護施設、医療系大学等での体験実習を含むインターンシップについて、14回を実施することができた。(○)</p>
	<p>(2) ア 部活動の充実と学校行事への積極的な参加</p>	<p>(2) ア・「部活動に係る活動方針」、「部活動の適切な運営」に則り、部活動を充実・活性化すると同時に、魅力発信を強化し、入部率の回復を図る。</p> <p>・体育祭生徒準備委員会を発足させ、実施競技や応援方法等の再検討を行うなど、「体育祭」「文化祭」「クラスマッチ」、「修学旅行」等の生徒が自主運営する行事の活性化を図り自己肯定感を高める</p>	<p>(2) ア・体罰ゼロの継続 ・クラブ紹介の充実など魅力発信を強化し、入部率を 70%まで回復させる [64%]</p> <p>・「体育祭」「文化祭」の満足度をともに 87%以上[体 83%、文 88%] ・「自主性を伸ばすことが出来た」(総合学科アンケート) 82% [81%]</p>	<p>(2) ア・体罰のない安全で安心な教育を継続する。(○) ・年度当初のクラブ紹介で魅力発信するなど入部率回復に努力した結果、全学年では 65%であった(△)が、コロナの影響等で退部者が重なった 3 年次生を除くと、1・2 年次生の入部率は 75%に回復した。 (○)引き続き部活動の魅力発信を強化して、入部率の回復に努める。 ・体育祭、文化祭ともにコロナ関連の制限をなくし、生徒が主体的に企画・運営するよう準備した結果、体育祭、文化祭の満足度は 92%、93%であった。(○) ・コロナ禍の影響を大きく受けた学年だった影響も考えられ、「自主性を伸ばすことが出来た」(総合学科アンケート) 肯定率は 78%で目標を達成できなかった。(△) 生徒の主体的な活動を支えることで、自主性の伸長を図りたい。</p>
<p>(3) ア 学外活動への積極的な参加と地域連携</p>	<p>(3) ア・地域小学校との交流の継続</p> <p>イ・地域のイベントやボランティア活動への参加</p>	<p>(3) ア・地域小学校との授業交流の継続</p> <p>イ・地域のボランティア活動の継続 [125名]</p>	<p>(3) ア・福祉系選択科目で実施している障がい者の介助について、地域の小学校の総合的な学習の時間に合わせて交流を行い、高校生が小学生に教える取組みを継続している。(○) イ・ボランティア部による地域でのボランティア活動や運動部員等による地域イベントへの参加をはじめ、教職員も地域活動に参画し、継続的な交流を行っている。(○) ・地域のボランティア活動 120名 (○)</p>	

## 府立堺東高等学校

<p>4 開かれた学校づくりの推進と情報の発信</p>	<p>(1) ア ホームページ、連絡網等の活用</p> <p>(2) ア 学校説明会での情報発信</p>	<p>(1) ア・ホームページ、連絡網等を活用し学校の情報をタイムリーに保護者・生徒に提供してニーズに応えるとともに、地域社会に向けた効果的な広報活動の充実を図る。</p> <p>(2) ア・参加者のニーズをとらえた学校説明会、ミニ見学会を開催するとともに中学校等から依頼のある説明会に積極的に参加</p>	<p>(1) ア・ホームページ、ブログ等の更新、連絡網によるタイムリーな情報発信により、保護者の学校教育自己診断における「教育情報について、提供の努力をしている」肯定率 83% [82%]</p> <p>(2) ア・生徒・保護者のニーズを把握するため、学校説明会等において、「説明のわかりやすさ」「学校に対する興味」などのアンケートを実施する。</p>	<p>(1) ア・さくら連絡網および学年ブログを活用し生徒・保護者への確実に迅速な連絡を行っている。学校の特色と魅力発信のため、学校説明会は合同5回、単独は7回を実施。校長ブログは200回以上の記事を掲載し、生徒の学ぶ様子や学校情報を発信している。保護者の学校教育自己診断における「教育情報について、提供の努力をしている」肯定率 85% (○)</p> <p>(2) ア・体育祭、文化祭、日常の学校生活等それぞれの様子を紹介するコンテンツ(スライドショー等)を作成し、生徒の協力も得て、学校の様子がより良く伝わるよう魅力発信している。(○) 10月オープンスクールのアンケート「説明のわかりやすさ」では、分かりやすかった69%、だいたい分かった28%で、「説明会全体の印象」では、内容は盛りだくさんだが少し長い11%、適当な内容と時間である85%、もう少し詳しく聞きたかった3%であった。</p>
---------------------------------	--	---	--	--